

Bibliophiles

ビブリオファイル No.5(2019年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



新着の文庫本を紹介します!

スタニスワフ・レム『ソラリス』。あの SF 映画の金字塔・タルコフスキー監督の『惑星ソラリス』の原作です。世界 38 カ国語に翻訳された名作ですが、原典のポーランド語が日本人には馴染みがなく、これまでは原典のロシア語訳をさらに日本語に訳した不完全な訳しかありませんでした。本書は、初のポーランド語原典からの翻訳になります。次にソポクレスの『オイディプス王』。紀元前 5 世紀に書かれた、古代ギリシャ悲劇の代表作です。心理学者のフロイトが提唱した「エディプス・コンプレックス」はこれに由来します。(エディプスはオイディプスの英語読み) 最後にフランスの作家・モーパッサンの短編集を 2 冊。特に『脂肪の塊』は傑作で、西部劇の名作『駅場所』などに影響を与えました。

『八九六四 「天安門事件」は再び起きるか』

1989 年 6 月 4 日。通称、「八九六四」と言えば、中国の天安門広場で政治の民主化を叫んでいた多くの若者たちを政府軍が虐殺した、いわゆる「天安門事件」です。軍に殺された人の数は数千とも言われますが、軍がすぐに死体などを片づけてしまって正確な数は分かっていません。またあれから 30 年たっても、中国政府はあの事件は「なかったこと」にしたいと考えていて、中国の TV で日本の天安門事件のニュースが流れようとする、政府の手により画面がシャットアウト。そんな言論統制のさなか、日本のルポライターの安田氏は、あえて危険を冒して中国に潜入し、天安門事件に関わった多くの中国人とまさにスパイのように秘密の接触をし、彼らの「生の声」を聴きとってこの一冊の本に仕上げました。「大宅壮一ノンフィクション賞」「城山三郎賞」受賞の、傑作ルポルタージュです。

安田峰俊

『いま、ここで輝く。』

超進学校を飛び出したカリスマ教師「イモニイ」と奇跡の教室』おおたとしまさ
「イモニイ」こと井本陽久氏は、全国から授業見学に大勢の教師が訪れる話題のカリスマ教師です。なぜって彼の「**しからない**」「**教えない**」教育は独自の哲学に裏付けられているのです。少し引用します。『子どもが「ふざけ」「いたずら」「ずる」「脱線」をする時は、一番自分の頭で考えている時なんです。それをむやみにストップしてしまうのは、もったいない。むしろそれを活かさないと。』(本書 190 ページ)

『宇宙に命はあるのか』

人類が旅した一千億分の八』小野雅裕
この本の作者は、NASA の研究所で火星探査の技術開発を行っている、言わば「宇宙の専門家」です。人類の宇宙への挑戦を熱く語る本なのですが、興味深いのは、作者は原稿を書いた後に一般の読者を集めた読書会を 4 度開催し、そこからの意見を元に図案を追加するなど締め切りギリギリまで手直したことです。その甲斐あってか、本当におもしろい本を一般読者の投票によって決定する「ブックログ大賞」を昨年度受賞しました。

『採点者の心をつかむ』

合格する小論文』中塚 光之介
新学習指導要領に向けて変わるのは英語だけではありません。小論文入試の重要性も、これからますます高まっていくと見られています。本書の著者は河合塾の小論文講師で、彼の小論文対策の夏期講習は、申込み開始後、すぐに締切となるほどの圧倒的な人気を誇っているそうです。
本書は、小論文の書き方について詳しい秘訣を教えてもらえるほか、小論文のネタの集め方や、どんな風に添削してもらえばいいかなど、多様な角度から攻めています。

『総特集 石ノ森章太郎:』

萬画の天才、誰がために闘う。』河出書房新社編集部
あの「仮面ライダー」の作者・石ノ森章太郎は、ギネスブックにより「**世界一多作な漫画家**」に認定されています。しかし、普通の漫画家の数倍のスピードで作品を仕上げた彼は、残念ながら 60 歳の若さで病死し、代表作の『サイボーグ 009』を完成させることができませんでした。本書は、その未完の『009』の完結編の構想ノートなど貴重な資料を含み、石ノ森漫画の魅力を解き明かします。



お知らせコーナー

東高祭期間中も、図書館は開いています!!

お暇な時にのぞいてみて下さい。古くなった雑誌の無料配布や図書委員による飾り付けが楽しめます。

ビブリオバトルを開催します!!

詳細はクラス掲示プリントをご覧ください。参加の応募、お待ちしております。

今号のひとこと

eleven plus two = twelve plus one

11+2=12+1

作者不詳のアナグラム

「なんだ、簡単な算数じゃん。」と思ったあなた、ちょっと待って下さい。これはアナグラムという言葉遊びなんです。例えば、タレントのタモリという芸名は、本名の森田一義の名字・モリタを並べ替えたアナグラムなんです。そう、アナグラムとは文字を並べ替えて別の意味の単語や文に作り替える遊びなんです。上のアナグラムも、eleven plus two のアルファベットを入れ替えると、みごとに twelve plus one に変身します。しかも、数式としても合っているところが凄くないですか?

ちなみに、日本語のアナグラムで一番有名なものは、ひらがな 47 文字を並べ替えた「いろは歌」でしょうね。